

(別紙 7)

愛知県におけるジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成に係る計画/評価報告

1 狩猟者の現状や課題等

- ・愛知県内では、イノシシ及びニホンジカによる農作物被害が多く（令和 5 年度：129,606 千円）、推定個体数についても高い水準にあることから、捕獲を推進し、個体数を低減させる必要がある。
- ・狩猟免許の所持者（令和 5 年度：6,410 件）はわな猟免許を中心に近年増加傾向にある一方で、狩猟者登録件数（令和 5 年度：1,487 件）は微減傾向にあり、狩猟免許が活用されていない状況であり、捕獲の担い手の減少が懸念されている。
- ・愛知県内では狩猟等により捕獲されたイノシシやニホンジカについて、そのほとんどが焼却や埋却処分されており、食肉処理施設で解体された割合は約 1 割程度とジビエ利用が進んでいない。
- ・そこで、わな猟の狩猟免許所持者を対象に、ジビエ利用を主眼においたわな猟の捕獲技術を修得させることで、ジビエ利用拡大を図るとともに、捕獲の担い手の確保を図る。

2 1 の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

実施時期	令和 7 年 9 月 27 日
場所	愛知県豊田市
目的	ジビエ利用を主眼においたわな猟の捕獲に係る知識・技能の習得
対象者・講師 (人数も記載)	・対象者（20 人程度） 県内在住者のうち、わな猟の狩猟免許を所持しており、これから狩猟等を始めたいと考えている狩猟者またはわな猟の経験が浅い狩猟者→参加者 19 人（申込は 21 人） ・講師 ジビエ料理を提供する店舗を営業者、狩猟者 1 名ずつ (いずれも、わな猟、第一種銃猟免許所持、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録者)
内容	・わな猟による捕獲方法 ・捕獲した獲物の解体方法
方法	座学による講義及び屋外での実習
評価方法	受講者にアンケートを実施し、研修による効果を確認する。
事業費	約 210 千円
備考	

注 1：項目に沿って、実施した研修会等の具体的を記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には本事業の目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性や事業効果の検証・測定方法を記入すること。

注 2：事業終了後の評価結果では、各項目について、実施した結果を記入すること。

3 2 の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価結果時のみ記入）

- ・受講者に実施したアンケートから、5 段階評価で最も高い「満足」と回答した受講者が 8 割程度と高い満足度が得られたとともに、地域共同の解体施設等の設置に関心を持つ声もあった。
- ・また、令和 6 年度にわな猟の狩猟者登録をしておらず、令和 7 年度は登録をした狩猟者は 12 人中 5 人と狩猟者登録促進にも寄与できたとともに、アンケートから今後の狩猟免許の用途について、「狩猟で使用してみたい」または「有害鳥獣捕獲で使用してみたい」と回答した受講者が約 8 割で捕獲の担い手の確保にも寄与ができた。
- ・今回、アンケート集計の効率化のため、ウェブアンケート形式で実施したが、思う

ような回答率が得られなかったため、次回から改善したい。  
・来年度も継続して研修会を実施する予定である。

注：1の課題及び2の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、事業目的に対して効果があったか等の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった取組目的・内容の改善点や今後の狩猟者育成の課題等についても記入すること。

#### 4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。